

## 第2回いばらき保育の魅力コンテストについて

本県では、今後、少子化が更に進行することを見据え、県内の特色ある保育の取組をピックアップし、県民の皆様にいばらきの保育の魅力を発信するため、「第2回いばらき保育の魅力コンテスト」を開催し、9月29日(金)より特設サイトにて公開いたします。

選定に当たりましては、保護者、保育現場からの視点も取り入れるため、子育て支援団体の代表者や保育団体の代表者に審査委員として参加いただき、下記のとおり6つの取組を選定しております。

なお、選定された取組についてはプロの取材・撮影による紹介ムービーを作成するとともに、今回応募のありました全ての施設の取組を特設サイトで紹介しており、保護者が保育施設を選択する際の参考としていただきたいと考えておりますので、是非、記事掲載いただきますようお願いいたします。

### 記

#### 1 事業の概要

- (1) 対象施設 保育所、認定こども園、小規模保育事業所（家庭的保育を含む）
- (2) 募集内容 保育施設の「アピールポイント」及び「具体的な取組」
- (3) 特典 プロの取材・撮影による紹介ムービーを作成し、特設サイトで公開

#### 2 選定結果（応募総数 43取組）

施設名	アピールポイント
こばと保育園(古河市)	経験・体験を通じた「生きていく力」の育成
まつやま保育園(守谷市)	食育を通じた「生きる力」の育成
ARINKOMURA(那珂市)	小児医療機関、病児保育を併設
さくらこども園(筑西市)	五感をフル活用できる環境
認定こども園つばさ(稲敷市)	生き物とのふれあいとSTEM教育
納場保育園(小美玉市)	保育士の「仕事と子育ての両立支援」

#### 3 特設サイトについて

特設サイトURL：<https://ibarakihoiku.jp>

検索ワード：「いばらき保育の魅力コンテスト」等



＜選定取組詳細＞ 応募件数 43取組 入選 6施設

施設名：こばと保育園(古河市) アピールポイント：経験・体験を通じた「生きていく力」の育成

- ・田植え・稲刈り・魚の調理等を体験 → 命を頂くことへ「感謝する心」を育む。
- ・交番へ花の日訪問 → 相手を「思いやる心」の大切さを学ぶ。

→子どもたちは、地域の方々が見守ってくれていることで、安心して生活できていることを実感する。



施設名：まつやま保育園(守谷市) アピールポイント：食育を通じた「生きていく力」の育成

- ・いちご狩り、田植え、スイカ割り、ブドウ狩り、サツマイモ掘り、米の収穫など作物の成長を体験。

→食材に対する興味関心が高まる。

→食べることの大切さやありがたさを感じる心、人間としての「根っこ」を育む。



施設名：ARINKOMURA(那珂市)

アピールポイント：小児科医療機関、病児保育を併設

- ・小児科専門医と看護師が施設内感染制御を担当 → 「風邪をもらうのは当たり前」ではない保育を目指す。
- ・医療的ケアを必要とする子どもの保育に対応できる。  
→基礎疾患がある子どもが、健常児と区別なく、楽しく一緒に過ごす。



4歳のトニーくんは、公園の散歩(散歩)が大好きで、大きな風船を飛ばして遊ぶのが大好きです。お母さんがおしゃべりしているとき、お母さんでもおしゃべりするみんなのグループ。



4歳のトニーくんは、1日園で過ごす中でインスリンを定期的に注入する治療を行っています。お母さんがおしゃべりしているとき、お母さんでもおしゃべりするみんなのグループ。

施設名：さくらこども園(筑西市)

アピールポイント：五感をフル活用できる環境

- ・園の隣にある「わくわくの森」で自然と触れ合う体験 → 遊びや食育を通じて、子どもの五感を育む。
- ・遊戯室にボルダリングを設置 → 子どもの体力育成につながっている。
- ・隣接する介護老人福祉施設との交流 → 子どもの慈しみの心を育む。



施設名：認定こども園つばさ(稲敷市)      アピールポイント：生き物とのふれあいとSTEM教育

- ・自然に囲まれた環境を活かした生き物との交流 → 自然や生き物を大切にする心を育む。
- ・保育士のほかに「学びの先生」を配置 → 子どもの「今すぐやりたい！」に対応。  
→体験からの学びを散りばめた楽しい保育を实践。



施設名：納場保育園(小美玉市)      アピールポイント：保育士の「仕事と子育ての両立支援」

- ・子育て中の保育士が子どもと一緒に出勤、保育業務に従事する。  
→保育士の「仕事と家庭」の両立を支援し、働きやすい環境を実現。  
→長く在職する保育士が多いため、保護者・子どもが安心して登園できる。

